

令和2年 第5回全員協議会会議録

令和2年3月27日 議員控室

○事 件

町長報告事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響による経営環境の悪化への対応について
(商工観光労政課)

○出席議員（14名）

議長 能登谷 正 人 君
関 口 正 博 君
横 田 喜世志 君
斎 藤 實 君
三 澤 公 雄 君
牧 野 仁 君
宮 本 雅 晴 君

副議長 黒 島 竹 満 君
佐 藤 智 子 君
大久保 建 一 君
赤 井 睦 美 君
田 中 裕 君
安 藤 辰 行 君
千 葉 隆 君

○欠席議員（0名）

○出席説明員（10名）

町長 岩 村 克 詔 君
副町長 萬 谷 俊 美 君
財務課長 川 崎 芳 則 君
商工観光係主事 岩 崎 拓 也 君
農林課参事 荻 本 正 君

副町長 吉 田 邦 夫 君
総務課長 三 澤 聡 君
商工観光労政課長 藤 牧 直 人 君
農林課長 加 藤 貴 久 君
農業振興係長 宮 下 洋 平 君

○出席事務局職員

事務局長 井 口 貴 光 君
庶務係長 松 田 力 君

事務局次長 成 田 真 介 君

[開会 午前 9時15分]

◎ 開会・議長挨拶

○議長（能登谷正人君） おはようございます。朝早く急遽全協を開くことになりまして、大変驚かれていますと思いますが、まず、コロナウイルスに対しましての商工観光労政課から急ぐということです、臨時会前に皆さんにご相談したいということです、よろしく願いをいたします。

◎ 町長報告事項

○議長（能登谷正人君） それでは町長報告のほうから願いをいたします。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 皆さんおはようございます。議員の皆さんには臨時会開会前の早い時間にお集まりをいただき全員協議会を開催していただき、誠にありがとうございます。

本日の報告内容ですが、新型コロナウイルスの流行にともない外出抑制や各種会議の自粛によって、経済活動が縮小して、特に飲食業を中心とした商工業者や、農水産物の価格に大きな影響が出ています。そのため町といたしましても、その対策に迅速に 대응することや即効性がある対応をするため本日の臨時会の開催依頼にもなっております商工業者への利子補給、保証料の支援策について第2弾として現在検討している対策は町内消費拡大施策として、牛乳、軟白ネギの格安販売を検討しております。また第3弾として水産物のホタテや、あわびフェスティバルの中止を昨日決定したこともあり、あわびの格安販売も検討が必要と考えております。状況に応じて段階的な実施を検討しております。いずれにしましても迅速な対応が必要と考えており、特に関係団体との調整や実施時期、準備期間などを考慮すると、第2弾の支援事業につきましては臨時会を開催する時間的余裕がありませんので、専決処分をお願いしたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。また、第3弾の支援事業につきましては、臨時会を開催して対応したいと考えております。

それとせっかくでございますので、研修牧場、青年舎についてですね、情報を提供いたします。青年舎の参加農家が鉛川の佐藤睦、佐藤牧場の佐藤睦さんが参加をするということが決定をして、あわせてですね、牧場長を受けてもらいましたので、牧場を運営してですね、安定してこれから進むものと思ってございます。さらにですね、株式会社不二家さんから、前からですね、出資をしたいという要望がありましたので、臨時株主総会を開いて、佐藤睦さんの株の出資、さらに不二家の株出資をですね、決定をして進めています、不二家さんにおかれましてはですね、5千万ほど出資したいという話がありましたけれども、5千万させると不二家の子会社になってしまいますので、町としてですね最低50%は持ちたいということで、100万ですね、我慢していただいて100万の出資をさせていただきます。ただ佐藤睦さんにいたしましては農家の人と同じ30万の出資で、変更後ですね八雲町が940万、農協が670万、不二家が100万円と4件の農家の120万ということで資本金合計が1,830万と

ということになります。それと今の研修牧場の進捗状況でありますけども、3月23日にクラスター事業補助金が決定をいたしました。4月以降ですね、これから建築土木等、2工区に分けてですね、入札をし、発注したいと考えてますので、よろしくお願ひいたします。それではですね、さきほどいった検討した内容につきまして、担当課長から説明をさせますので、よろしくお願ひいたします。

○商工観光労政課長（藤牧直人君） 議長。商工観光労政課長。

○議長（能登谷正人君） 商工観光労政課長。

○商工観光労政課長（藤牧直人君） おはようございます。急遽の全員協議会ということでよろしくお願ひいたします。

町長から説明がありましたとおりコロナウイルスの関係で全国的に、全道的に経済関係が非常に悪化してるということで、先般も口頭で皆様にお伝えしたわけではありますが、それでもですね、手元の資料のとおり再整理してございます。これにつきまして、まずおわかりのとおり、中小商工事業者の資金繰りですね、運転資金への支援ということで国、道におきまして、各種支援策、この制度融資、相当ございます。今回のコロナ特例枠ということで、実質、無利子無担保という政策金融公庫、こういったものもございまして、概ねですね、利子と保証料というのは低いですがかかります。これについて町は、町内事業者の経済的負担を軽減するというのでその分の利子と保証料を補給するということ。

さらにもう一つ町で持っております、我々商工が持っております運転資金の融資制度がございまして、こちらについては従前から保証料につきましては町が支援するということになっておりましたが、あわせてこの利子についても横並びで補給するという考えで進めております。これにつきましては、今回財政負担が伴うということで、この後ですね、臨時会のほうでご審議いただけるものと思っております。これがですね金融支援のメインということで、次にですね、売り上げ回復支援ということで、これも先ほど町長から説明がありましたとおり、金融支援では例えばですね、輸血をしてもですね、自分の血で動いていただかないと、融資といえども借金は借金ですので、売り上げ回復をして自己体力で動いてもらうということのためにですね、行政ができることとして今考えておりますのが、商工業のみならずですね、一次産業にも波及が懸念されるわけ、若干してきております。町の特産物であります牛乳、それから今出荷を迎えております軟白ネギ、こちらをですね、生産者、生産者組合、乳業メーカーと、それを町内の皆様に格安でご提供すると。この機会に町一丸となってこの難局を乗り越えようという機運情勢も含めてですね、町民の方へ格安で提供すると。これをどうやって提供するかっていう手法につきましては、そういったことに一番長けたですね、商工業者、商工会に間に入ってくださいまして、生産者、商工業者、町民がですね一丸となつてとりあえずですね、まず一つの事例としてですね、町内の循環をさせるということで、その間に町が入りまして財政支援をするというかたちで第1弾を開催したいということで、ここに細かいこと書いておりませんが今水面下で調整しておりますのが、受けていただくのが商工会女性部ということで、4月11日12日、決定ではございませんがほぼこれでいくと思っております、はぴあにおきまして、概ね10時から4時くらいまで長丁場で販売をするということでございます。販売金額等につきましてはですね、まだ調整中ということで、当然人が殺到すればですね、これが感染症のあだになりますので、その辺につき

ましては当然商工会も十分理解したうえで、風通しをよく全部エントランスを開けるですとか、また長時間にすることによって人が一気に来ないというようなかたちで工夫はされているというふうに我々承知しております。

この後ですね、これをモデルとしてですね、そのほか対応していくであろう水産物ですね、こういったものについて徐々にですね工夫を重ねて町内の循環によって商工業者にもですね、お金が回るようにというふうなかたちで順次組み立てていきたいということで、これに係る経費につきましてはですね、その都度ですね、補正予算ということになるかと思えます。また緊急の場合は専決になるかと思えますが、これにつきましては、議会の皆さんに相談ということで考えております。

そのほかですね、2番目ですが、既に政府等もいろいろとプレミアム付き商品券ですか、お魚券ですとかそういった言葉も出ておりますが、ここにつきましても前も申し上げましたとおり一律の商品券でいいのかと相当疲弊してる業種が、偏ってきますので、ここにつきましては帰ったら商工会ともお話をさせていただきます。また急いだほうがいいということで前倒し要請も話はしております。ここにつきましてどんどん話しを進めていきたいなと考えております。

次に裏面になりますが、ちょっと視点を変えまして、ひとつ、事業者もそうなんです国でも言っております従業員ですね、生活者である従業員に対する支援、休業等を余儀なくされて減給または自宅待機、自宅待機イコール減給ですが、国、道でですね、①、②はですね、国、道が既に持って発動してる支援阻止でございます。3番目にですね、町における支援ということで、この後ですねじわじわとやってくるのではないかとということ予想しまして、従業員減給等を余儀なくされ、それによって月の生活に困窮するようなことが予想されますので、これについて町として何らかの手当てをしたいということで、今考えてるのは、私ども商工観光労政課で労金に3,500万預託しております。これを原資としてですね、ただ、お金をですね、給付するということではできませんので従業員に対する生活資金の貸し付けというかたちで、ここについても当然ですね、利子と個人債務でも保証料というものが発生します。これにつきまして企業同様ですね、町が補給して負担を軽減していくということで、これにつきましては受け皿であります、労金さん。こちらのご同意等も必要ですので、すでに労金さんとはお話し合いは始まっておりますので、調整でき次第ですね、ちょっと労金さんがイエスカノーかまだ返事はいただいておりませんが、イエスという答えであればですね、早急に制度として組み立てていきたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（能登谷正人君） ありがとうございます。ただいま課長のほうから1番目からずっと裏面まで一気に説明がありましたけれども、何か皆さん問題点があったり、あるいはまた町の行事に関しては何かいいアイデアがあったら提出していただきたいと思っておりますけれども、どなたかありませんか。

○11番（牧野 仁君） はい。

○議長（能登谷正人君） 牧野君。

○11番（牧野 仁君） おはようございます。私もちょっとこれからいう話私もちょっと反省しながらお話をしますけども。行政にちょっとお願いなんですけれども、やはり今町長からお話がありましたとおり、昨日理事会がありましたして同じ話になりますけども、先ほど飲

食店関係が1番大変だという話の中で今の報告を聞くと融資の関係はもちろんのことですが、それに売り上げがなければ返済できないと。ですから融資も受けたいけども売り上げが少ないのに借金払えないのに融資は借りれないと。ちょっとそういう流れだと思うんですよね。私も議会終わってから10件ぐらい飲食しましたけども、ほとんどの店が半分以下のお客さんだということで、1番早急にやるには即効性、町長も言っていましたけども、先日1週間前に落部の隣の町、厚沢部町ですね、新聞じゃなくてテレビで見たんですけども、町長の答弁の中でこのままでいったら国の政策待ってたら町がつぶれると。飲食店もなくなったら町が死んだようなものだ。そういうことで町独自の飲食店だけのクーポン券を発行したらいいです。そして来月からそれをできるかたち。まさにそれは町独自の即効性の対策だと思うんですよね。そういった観点からも反省したというのはそこなんですけれども、町としてもそういった1番困ってるところに、手を差し伸べるということはまだ見えてこないということをちょっと残念に思ってる。その辺の配慮は町としてはどのような考えですか。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 牧野議員ですね、本当にそのとおりだと思っています。ただ今のところですね、この順番的にいくほうがいいたらいいというのですね、まだ外出だとかを控えている中でそれを発行する時期だとかもですね、もちろん考えながらですね、先ほど言ったとおりですね、それは専決でやらなきゃいけないものもありますので、理解をいただきたいと思えますけれども、迅速にですね、やってみたいということは考えてますので、商工のほうでもいいのでぜひですね、またいろんな意見をいただければなど。よろしく願いいたします。

○11番（牧野 仁君） はい。

○議長（能登谷正人君） 牧野君。

○11番（牧野 仁君） 私個人的には、今繁忙期ですよ。飲食店は。来月から歓迎会とかいろいろ例年ですとお客さんが出入りする機会なんですけども、そんな中でやはり飲食店にもやっぱり工夫も大事だと思うんですよ。例えば今言った手洗いとか消毒とか、シートを拭くとかそういう店からの努力も必要なんですけども、そういった要望も出しながらですね、町も参加して経営に参加するわけではないけども、そういう指導しながら少しでもお客さんを受け入れ、町として考えるのはいかかかなと。私も来月ちょっと自分のほうでも歓迎会やりたいなと思ってそれを今探してるんですけども、ある程度店を確保してやりたいなと思ってます。そういった観点から町も積極的に範囲を広げる対策。手をこまねても前に進まないの、店のほうにも協力いただけることを、協力いただきながら行政とタイアップして連携してこれから販路を広げていただきたいなど。以上です。

○議長（能登谷正人君） 答弁はいいですね。

○11番（牧野 仁君） はい。

○議長（能登谷正人君） ほかにありませんか。

○9番（三澤公雄君） はい。

○議長（能登谷正人君） 三澤君。

○9番(三澤公雄君) 牧野さんの指摘ももっともだなと思って聞かせていただきました。それに対しての町長の答弁が考えてるんだけど今はこの議案に出されたことを先にとって言われたんですけど、まさしく飲食業が1番ダメージを受けていて、今八雲の中でもさ、もっといろんなもん食べたいっていうけどお店がなかなか増えないってことは町民の潜在的な希望の中にあるんですよね。だからお店がなくなっちゃったらもっともって大変なことになるわけだから、牧野さんが言ったように飲食業に直接支援されるようなクーポンというのはまさしくいい考えで、それと一緒に、例えば30名定員のところに例えばお店のほうに1日の満員にならないように15名だとかそういった定員を設けてお店で予約の受付をやってくださいとか、そういった行政のほうからいわゆる東京都知事が言った3密の関係が1つでも欠けるような条件を整えてるうえでのクーポンの出し方だよとかって言って、町民に先ず出すことによって安心感だとか営業やってる人ももうちょっと今頑張ろうと。そうすればお客さんが来るんだというふうにな、そういう見通しが立つということも大事なので、考えてるっていうんじゃないかと、今日報道もいますから、しっかりした答えがあったほうがいいんじゃないかなと思うんですけどね。とてもいい牧野さんの提案だと思いました。

○町長(岩村克詔君) 議長。

○議長(能登谷正人君) 町長。

○町長(岩村克詔君) 確かにですね、これは今そのいろんな私もですね、地域に入っているいろんな話を聞いています。ただ我々としてもですね、たとえばいろんなですね、歓送迎会、役場のですね異動もありましたので、そういうのはですね、いまのところ自粛をするということで、国も、道もそういうふうですね、打ち出してる時にですね、我々も言いにくいということもありますので、その辺はですね、時期を見てしっかりやってく。これはですね、商工会とも今打ち合わせをしています。先ほど言ったクーポン券についても、今年ですね、当初予算からプレミアム商品券はもう発行することが決まっていますので、その前に手を打つことをですね、商工会とですね、一緒になりながらですね、今組立はしてるということ考えてるといふか、進んではいますけれども、時期的なことについては、いつやるかということはやっぱ飲食店やいろんな方々の協力体制もいただきながらということもありますので、温度差のですね、飲食店についてもですね、温度差も結構ありますので、商工のですね、商工会の事務局と、また商工会の会長、副会長さんを先頭にですね、競技をしながらですね、もちろん考えているといふか、やることで進んでるということでご理解いただきたいと思っています。

○議長(能登谷正人君) あの大変申し訳ありません。会議の運び方が、自分でもまずいと思ひまして、時間も10時から臨時会がありますので、上のほうからひとつずつ議会通してもらいたいと思いますので、まず1番上のほうの資金繰りの支援について、このことについて、ここから出発したいと思ひますけども、このことについて何か皆さんのほうから。

○15番(黒島竹満君) はい。

○議長(能登谷正人君) 黒島君。

○15番(黒島竹満君) 金融機関との商工会との話し合いの中で、多分その内容というのは聞いてると思うんですけども、金融機関とすればですね、今結局大変なのにこれから金貸

しても返せないだろうという話が多分出てると思うんですよね。これ今この金融機関で貸付だとかっていう部分も含めてですね、今民間にも貸すっていう話も出てたんだけど、それと同じことを民間の人たちが借りてもさ、結局働く場所がその後本当に大丈夫なのかという部分も含めてね、どういうふうに考えてるのか。そして、多分金融機関で金かからないっていったら辞めなきゃない業者だっておそらく出てくると思うんですよね。そういった部分も含めてですね、町としてはどのような考え方を持ってるのか教えてほしいです。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 確かに、国、道の支援策もありますので、町としてはですねその支援策からあふれる部分、なかなかカバーできない部分を町の制度で救っていかうという趣旨であります。ただ個人については第3弾でやりますけども、確かに黒島副議長さんがおっしゃってるとおりですね、大変な業者もあると思っています。ただこの経済というのは私ものです円、読めないということでもありますので、我々の支援策としてもですね、据え置き期間とかいろいろ業者と相談しながら例えば借りるですね、会社とか事業主の方とですね、ご相談を受けながら期間等々も考えながらやってみたいと思っています。ただ、黒島副議長さんも商売やってますけども、コロナの影響だけで本当にゆるくないのか、その前からいろんなこともあるということもあるのでですね、その辺も加味しながらですね、でもそういう方々も我々としては救っていきたい。今コロナの影響で八雲町ですね、事業者のこぼれることのないように、そんな思いもしながらですね、やってみたいと思っていますので、確かに現金を配るとかいろんなことも考えられますけども、まずはこれをやりながらですね、いろんな部分で、ただお金を配るといのはちょっと。やはりですね、借りて、本当に私も商売やってきましたけど、この時期において、どんなふうですね商売というのは復帰するというのはわかりませんので、その期待を込めながらですね、やってみたいと思っていますので、ご理解いただきたいと思っています。

○15番（黒島竹満君） はい。

○議長（能登谷正人君） 黒島君。

○15番（黒島竹満君） 結論はおそらくね、いろんなかたちであると思うんですけども、だから国のほうになんとかその補助金とかね、そういった制度が何とかならないのかっていう動き方も町のほうからお願いするかたちをとってってもらえればというふうだと思うんですよね。それとまた今個人の貸付の部分についてもですね、その辺もしっかりしないとおそらく滞納者が多分続出する可能性はあると思うんですよね。その面をしっかり考えながら動いたほうがいいと思いますので、是非よろしくご理解お願いします。

○議長（能登谷正人君） そのほか1番の資金繰り支援についての問題に対して何かございませんか。

○3番（佐藤智子君） はい。

○議長（能登谷正人君） 佐藤さん。

○3番（佐藤智子君） 納税の猶予ですとか、固定資産税の減免とか、そういう税金関係のことで、今考えてることとかはございますか。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） それはですね、もちろんのことですね、金融機関等々にもアピールしていますし、また商工会にも話しをしています。これから広報なんかでも話しますけれども、水道料金、町に納める税金等々につきましてはですね、柔軟に対応したいと。ご相談に乗るとい話をしていますので、それについては議員の皆さんからも、もしもそういうことでご相談があれば我々としては柔軟に対応していきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。

○議長（能登谷正人君） そのほかありませんか。ないようですので、2番目の売り上げ回復支援のほうに移ります。このことについて何か。1番と2番。もう既に商工会等々の話し合いが進んでいるということですので、これはこれでよろしいでしょうか。

○14番（千葉 隆君） はい。

○議長（能登谷正人君） 千葉君。

○14番（千葉 隆君） 三澤議員さんや牧野議員さんと同じなんですけれども、プレミアムの関係だとか、クーポンもいいんですが、隅々に行きわたるかというところが消費者のほうというお客さんのニーズによって行く店とか行かない店とか、それから今、あるので、その辺偏って、恩恵を受けない事業者が出てこないような、やり方を工夫していくことが必要なのかなという部分があって、中小、零細の中でも本当に個人か、そのちょっとくらいの経営の部分が飲食店だから、1人でやってるとか2人でやってるとか、そういうところなのでね、なかなかこの辺難しさがあると思うんですよ。

それで当然町長が言うように今自粛してるときに、行政的に即効性をもって発行できないとか対応できない、言ってくださいっていえないうというそのタイミングもあると思うんですが、やっぱり実際聞けば、コロナウイルスと関係ないにしても、6月くらいにやめるところも、お店も出てきてるし、こないだ行ったお店は今の大変なときに当店をご利用いただいて感謝の気持ちでいっぱいです、ありがとうございますって、次来るときに500円割引しますよっていうふうにやっても来ないとか、最初から行けば今日はお客さん来ないから1割引きでもいいですよって言ってる店もあるんですよ。それやってもやっぱり夜のほうは来ないというか、そういう状況もあるのでね、だからその辺タイミングが重要だってことは十二分に認識していますけども、各店に、ある程度恩恵できるようなかたちにしないと、なかなか難しいのかなっていうふうに思いますので、その辺の工夫だけ。

それとタイミングはできれば早めにということを切実に皆さん言ってるのでね。実際行ってみればそういうような感じしてるのでね。個人の人たちは夜もあるけども、耳吊りの時期だから、ほとんど耳吊りに行ってる人もほぼいて、夜働いてる人は昼間ね。だからそこいかないと今やれないというふうに言ってますので、これの時期が長くなれば、耳吊り長くなれば、生活窮になっちゃうので、できるだけタイミングは早めにしてほしいなど。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 本当に議員の皆さん、千葉議員さんも言っていました、本当にこの飲み屋さんですね、飲食店のクーポンというのは早急に商工会と打合せして取り組みた

いと。ただし臨時会とか開いてる暇ありませんので、専決ということもですね、理解をいただければと思います。

○議長（能登谷正人君） わかりました。

○7番（赤井睦美君） はい。

○議長（能登谷正人君） 赤井さん。

○7番（赤井睦美君） お店屋さんが大変なことはもちろん分かってますけど、例えば卒業式に保護者を入れないとか、町民がそういうふうには恐怖をいっぱい出すから、そういうところに行っちゃいけないんじゃないかという、そういうのは町民には大丈夫とは言えませんが、少人数であればとか、換気してる場所であればとか、もっと行っていいんだという、そういう意識をやらないと、いくらお店屋さん助成したって皆恐怖で外に出なかつたら何の意味もないですよ。だから町民にやっぱり還元する。それである事業所では、事業所内でお店から持ち寄って送別会やったというのを聞いているから、そういうテイクアウトっていうんですか。そういうことも十分できますよって、各家庭でも卒業祝い、入学祝いやりましょうとか、そういう町民にもっと買いなさいとかっていう、そういう意識を持ってもらわないと、いくらお店に助成しても行く人がいなくなったら意味ないと思うんですよ。ですからあまり入学式に保護者入れるかどうかとか、そういう恐怖ばかり言わないで、こういうふうにはきちんと安全対策していますってことをPRして、持ち帰って食べるってことでもいいから、そういう意識を持って町民にPRできたらなって、自分でもどういうふうにしたらできるのか分からないんだけど、そっちのほうが先かなと思います。答弁はいいです。

○議長（能登谷正人君） 答弁はいいですね。そのほか売り上げ回復支援についてなにかありませんか。ないようですので、その他の支援の項目に入ります。課長のほうから説明ありましたけれども、そんな感じでよろしいでしょうか。町における支援もよろしいですか。これで。

○14番（千葉 隆君） ひとつ。

○議長（能登谷正人君） 千葉君。

○14番（千葉 隆君） 労金の預託金の関係なんですけれども、昨日からアメリカの1番状況がすごいということで、失業者が急激に爆発的に失業者が出てきてるんですけども、この辺の倒産したとかあるいは首切られたとか、雇止めされたという状況の中でのやっぱり労働者の早急な支援というのが、ハローワークの部分でいうと、そういう首切り倒産の部分は優先されるんだけど、優先されてもちょっと1か月間くらい間があるものだから、その辺の1か月の期間のところの部分も考慮して、解雇された、倒産された、雇止めされたって人達には明日から困るっていうか、1番今のところ非正規の人たちから切られてるからその辺の部分も、なかなか失業対策という部分でハローワークの支援をもらえない対象者もいるのでね、その辺の期間の部分と非正規の部分少し相談窓口に来たときに速やかに借りれるという対応をお願いしたいなと思います。

○町長（岩村克詔君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 千葉議員おっしゃってるとおりだと思っています。本当に1件ですね、そういうかたが今相談に来ていますので、その辺については柔軟に我々は対応してい

たいと思っています。本当に千葉議員さんおっしゃってるとおりですね、正規の職員はいいんですけど、パートだとか先に切られるっていうのはありますので、十分にですね、柔軟に対応したいと思っていますので、よろしく願いいたします。

○議長（能登谷正人君） ほかにありませんか。ないようですので、以上で本日の全員協議会を。

○町長（岩村克詔君） 一個だけ。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 最後にちょっとだけ、先ほどの研修牧場の件でありますけども、牧場長が決まりましたので、ある時期を見ながらですね、今私が代表取締役社長ということでありますけども、時期を見てですね、代表取締役社長を退くということで考えています。それともうひとつ報告として、またこれも来てみないと分かりませんが、今のところですね、事務長並びに副町長が頑張ってますね、4月15日から内科の、京都から女医さんが来るという予定である。これも来てみないとはっきりしませんが、ということで報告をしておきます。ありがとうございます。

○議長（能登谷正人君） それではご苦労様でした。

[閉会 午前 9時50分]